

2024年度 日本工学院八王子専門学校											
スポーツ健康学科三年制 スポーツビジネスコース											
スポーツツーリズム研究 1											
対象	3年次	開講期	前期	区分	選	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	小松雅樹			実務 経験	有	職種	プロスポーツチーム				
授業概要											
スポーツと観光のそれぞれの事業効果を融合させながら、来訪者の獲得や経済活性化に成功している地域事例を学びながら、将来的なスポーツ観光事業の可能性について考察を進めます。											
到達目標											
スポーツツーリズムの基本的な仕組みと利用上のメリット・デメリットについて理解します。また、身近で利用できるスポーツツーリズムサービスについて議論しながら、地域活性化や運動実施についてスポーツツーリズムの観点から提案出来ることを目指します。											
授業方法											
スポーツツーリズムの基本を理解し、社会課題の解決につながるスポーツツーリズムの活用方法について検討を進めながら、スポーツツーリズム事例をもとにしたアクティビティ企画・実施を行います。											
成績評価方法											
成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果（中間/期末/定期的な提出物など）30%、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）30%、出席状況40%とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行います。											
履修上の注意											
学生間および教員とのコミュニケーションを重視します。課題等を通じて積極的に参加することで、主体的に授業に取り組んでください。また、社会の動きを観察しながら、スポーツツーリズムを活用した身近な問題の解決方法を考えましょう。なお、授業時間数の4分の3以上を出席しない学生は成績評価を受けることが出来ません。											
教科書教材											
毎回資料をプロジェクターで投影します。参考書・参考資料等は、授業中に指示します。											
回数	授業計画										
第1回	授業スケジュール、授業内容、授業目的の説明										
第2回	地域活性化とスポーツツーリズムの関連性										
第3回	スポーツツーリズムの普及がもたらす社会的変化										

2024年度 日本工学院八王子専門学校	
スポーツ健康学科三年制 スポーツビジネスコース	
スポーツツーリズム研究 1	
第4回	スポーツツーリズムのメリットとデメリットの理解（構造的問題と信頼性・利便性の確保）
第5回	スポーツツーリズムを活用した身近な社会的課題の解決のためのディスカッション（キャンパス内対象）
第6回	スポーツツーリズムを活用した身近な社会的課題の解決のためのディスカッション（キャンパス内対象）
第7回	キャンパス内で出来るスポーツツーリズム企画の検討
第8回	キャンパス内で出来るスポーツツーリズム企画の検討
第9回	キャンパス内で出来るスポーツツーリズム企画の検討
第10回	キャンパス内で出来るスポーツツーリズム企画の実施準備
第11回	キャンパス内で出来るスポーツツーリズム企画の実施準備
第12回	キャンパス内で出来るスポーツツーリズム企画の実施準備
第13回	キャンパス内で出来るスポーツツーリズム企画の実施準備
第14回	キャンパス内で出来るスポーツツーリズム企画の実施
第15回	スポーツツーリズム実施後の振り返りと第2企画の検討開始